

## 2021年5月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

### 1 内政

(1) 3日、アビナデル大統領は、2024年までに少なくとも60万人の新規雇用を創出するため、1983年に労働省により発足された国家雇用委員会の6年ぶりの再開を発表。同委員会は、労働省の主導により、商工省及び経済企画開発省が協力する。

(2) 5日、アビナデル大統領は、5月10日より国家ワクチン計画の第3フェーズの開始を発表。

(3) 7日、国連世界観光機関（UNWTO）とドミニカ（共）観光省の主催により第26回南北アメリカ観光大臣会合が開催され、ラ米地域における観光セクターの発展及び回復のための経済政策等が議論された。

(4) 10日、ケンヤ・ロメロ裁判官は、メディーナ前政権下での大統領特別警護部隊（CUSEP）及び観光警察（CESTUR）における汚職の摘発を目的とした「コーラル作戦」により逮捕された6名のうち、アダン・カセレス・シルベストレ前CUSEP部隊長を含む5名に対し、ナジャヨ刑務所での18ヶ月の予防拘禁を命じる判決を下した。

(5) 11日、上院議会は、住居政策等を担当する住居・住居環境・建設省（Mivhed）の設立法案を承認。

(6) 13日、アルモンテ・エネルギー鉱山大臣は、モンテクリスティ県マンサニョの天然ガスプラント2基の建設に係る公開入札について、アジア、アラブ、ヨーロッパ、北米、ラ米諸国及び当国の企業61社が投資に関心を示していると発表。

(7) 19日、アビナデル大統領は、「A casi un ano（まもなく1年）」のテーマの下で開催された大統領就任後9ヶ月の施政に関するメディア関係者との特別インタビュー番組に出演。汚職対策について、現政権は無処罰を一切許容しないことを改めて強調した。

(8) 20日、ドミニカ（共）の麻薬王と知られ、現在コロンビアで拘束中のセサル・ペラルタ（通称「エル・アブサドル」）容疑者について、弁護士のホアキン・ペレス氏は、同容疑者がプエルトリコに送還される旨報告。

(9) 25日、アビナデル大統領は、エンリキージョ地域（バラオナ県、ボオルコ県、インデペンデンシア県、ペデルナレス県）の開発プロジェクトに対する6,421百万ペソの投資を発表。同プロジェクトは、インフラ、農業、公衆衛生、観光、水、エネルギーが盛り込まれている。

## 2 新型コロナウイルス

(1) 5日、中国シノバック社から購入した新型コロナウイルスワクチン200万回分が到着。アビナデル大統領は、シノバック社製コロナワクチンの1回目を接種。下院議会は、国民にコロナワクチンの接種を義務づける法案を承認。

(2) 10日、18歳以上の国民に対する新型コロナウイルスワクチンの接種が盛り込まれた国家ワクチン接種計画の第3フェーズが開始。

(3) 13日、アビナデル大統領は、夜間外出禁止令を含む新型コロナウイルス各種対策措置の5月30日までの延長を発表。

(4) 14日、COVAXで購入した新型コロナウイルスワクチン（アストラゼネカ）187,200回分が到着。

(5) 15日、下院議会は、ファイザー社製新型コロナウイルスワクチンの追加的な20万115回分の契約を承認。

(6) 25日、シノバック社製新型コロナウイルスワクチン100万回分が到着。

(7) 26日、アビナデル大統領は国家非常事態宣言の5月30日から7月13日までの45日間の延長及び夜間外出禁止令を含む新型コロナウイルス各種対策措置の5月27日から6月11日までの延長及び一部変更を発表。

(8) 27日、ペーニャ副大統領は、ファイザー社製新型コロナウイルスワクチンの12歳から17歳までの未成年者への提供を発表。未成年者（12歳～17歳）の人口は約130万に達し、計260万回の新型コロナウイルスワクチンが必要となる。

(9) 28日、リベラ厚生大臣及びディアス国防大臣は、ダハボン県の国境地帯を視察し、ハイチとドミニカ（共）の国境地帯における新型コロナウイルス感染を防ぐための公衆衛生の強化を発表。

(10) 29日、ドミニカ（共）厚生省は、国内での新型コロナウイルス変異株の検出に係るプレスリリースを、公式ツイッターを通じて発表。新型コロナウイルスに対する予防の取り組み及び臨床に係る既存のプロトコルに変更は無し。

(11) 29日、当国民間航空評議会（JAC:Junta Aviacion Civil）は、ドミニカ（共）国内における英国型及びブラジル型変異株の確認を受け、英国、ブラジル及び南アフリカからの旅客に対し、PCRまたは抗原検査の陰性証明の提示を求める決議を発出。

(12) 31日、アビナデル大統領は、夜間外出禁止令を含む新型コロナウイルス各種対策措置の変更を発表。

(13) 31日、厚生省疫学総局は、新型コロナウイルスの累計症例数292,786名、累計死者数3,628名、治癒者241,596名となった旨発表。

## 3 外交

### (1) 米国

ア 18日、米麻薬取締局（DEA）及びフロリダ州南部地区連邦検事局は、ドミニ

カ（共）の薬物取締局（DNCD）及び検察庁と共に、ミゲル・グティエレス・ディアス与党現代革命党（PRM）下院議員を麻薬取引に関与した容疑で逮捕したと発表。

イ 23日、米国南方軍とドミニカ（共）海軍は、カリブ海沿岸にて、麻薬摘発や捜査に係る共同演習を実施。

ウ 28日、カブレラ・ウジョア薬物取締局（DNCD）長は、米国政府から、麻薬取締を強化するため、15百万ドルに相当する機器等が供与された旨発表。

#### （2）中国

ア 28日付「オイ」紙は、2014年から2021年にかけて、ドミニカ（共）の対中国貿易赤字が17,595百万ドルに達していると報道。過去7年4ヵ月において、ドミニカ（共）から中国に対する輸出総額は1,075百万ドルで輸出全体の1.56%を記録。他方、中国からの輸入は18,862百万ドルで輸入全体の13.69%に相当。

#### （3）ハイチ

ア 7日付「エル・カリベ」紙は、ハイチ人の労働力に対する需要について報道。国家移民研究所は、国際移住機関（IOM）及び国際労働機関（IOL）と共に実施した調査において、2019年から2024年の間に、ドミニカ経済が年間平均7,564人の新規雇用を創出され、その雇用はハイチ人移民労働者によって占められると予測している。

イ 19日付「エル・ディア」紙は、ドミニカ（共）当局が「Sonson La Familia」の名で知られ、22年間逃亡していたWoodly Etheart氏を逮捕し、ハイチに送還した旨報道。1999年以来、ドミニカ（共）当局は、Etheart氏の逮捕に係る協力を実施。同氏は、誘拐、殺人、麻薬密売、車両盗難、銃器の違法所持等の犯罪で起訴されている。

ウ 21日、アビナデル大統領は、国防省に対し、ドミニカ（共）とハイチの国境におけるフェンスの建設と設備に係る購入と契約を緊急に実施することを承認。

エ 27日、ドミニカ（共）政府とハイチ政府は、国境地帯に位置するマサクレ川の使用に係る問題解決に向けたオンライン会合を実施。今後も問題の解決に向け協議を行う場を設け、フォローアップを行うことに合意。

#### （4）フランス

ア 6日から12日までの7日間、フランスの軍隊及びドミニカ（共）の軍隊は、二国間協定の一環として、合同軍事演習「カリブ2021」を実施。

イ 12日、フルニエ当地仏大使は、パチェコ下院議長と会談を行い、首都の地下鉄、ロープウェイ、空港等の建設を通じたドミニカ共和国の国内産業の発展への貢献に関心を表明。

#### （5）その他

ア 6日、国際通貨基金（IMF）の代表団は、声明を通じて、ドミニカ（共）における課税基盤の拡大や免税撤廃等、包括的で持続的な成長を保障する改革の実施

を提案。

イ 11日から14日までの4日間、ドミニカ（共）は、ラテンアメリカ・カリブ地域気候週間2021（LACCW）を開催。コロナ感染拡大の影響に係る世界的な気候変動について協議。

ウ 13日、ドミニカ（共）外務省は、国連薬物犯罪事務所（UNODC）のサイバー犯罪に対する国際条約の構想に係るアドホック委員会のラ米及びカリブ海地域の副議長に選出されたことを発表。

エ 17日、ガルシア移民局（DGM）長は、現在不法滞在のステータスとなっている10万人以上のベネズエラ人のうち、ドミニカ（共）政府による合法化プロセスを利用したのは、42,952人のみであったと発表。なお、申請者の3,600人が未成年であったと報告。

オ 18日、バスケス内務警察大臣は、国家警察改革及び市民の安全保障について、ホセ・ビラ・デル・カスティージョ氏が率いる国連薬物犯罪事務所（UNODC）の使節団と会談を実施。

カ 18日、フランク・ハンス・ダンネンベルク駐ロシア・ドミニカ（共）大使はプーチン大統領に信任状を奉呈。プーチン大統領は、観光セクターを含むドミニカ（共）との協力を継続する意向を表明。

キ 20日、ロマン外務次官（領事・移住担当）は、国連犯罪防止刑事司法委員会（CCPCJ）第30回会議にオンラインで出席。ドミニカ（共）政府の組織犯罪、汚職、刑事司法強化の取り組みを強調。

ク 23日、アビナデル大統領は、エクアドルを訪問しギジェルモ・ラッソ第47代大統領の就任式に出席。

ケ 26日、ドミニカ（共）政府は、第7回イベロアメリカ経済・財務大臣会合を開催。当国政府によるイベロアメリカ首脳会議関連会合の開催は議長国就任後初。

#### 4 経済

（1）3日、アビナデル大統領は、ドミニカ（共）を訪問中のペデルナレス県の観光開発に関心を持つメキシコの企業グループと会合。ドミニカ（共）への投資の安全性をアピール。

（2）7日、アビナデル大統領は、病院、児童養護施設、学校、住宅建設等を目的としたアト・マジョール県に対する16億5300万ペソの投資を発表。

（3）10日、中央銀行は、2021年4月の家族送金額が910.8百万ドルに到達し、前年同月比より515.8百万ドル増加した旨発表。なお、2021年の第一四半期の家族送金額は、3,459.5百万ドルで前年同期比1,361.3百万ドルの増加を記録。

（4）12日、観光省は、2021年第一四半期に、1,044,159名の来訪者（内、非居住外国人895,228名）を記録したと発表。

(5) 18日付「オイ」紙は、メキシコ企業「El Grupo Posadas」が、コロナ感染拡大下に建設したリゾートホテル「Live Aqua Beach Resort Punta Cana」（投資額約120百万ドル）がドミニカ（共）にオープンした旨報道。

(6) 26日付「ディアリオ・リブレ」紙は、2021年第一四半期で、公的債務が58,873.3百万ドルに達し、ドミニカ（共）のGDPの70.5%に相当する旨報道。

(7) 27日付「エル・カリベ」紙は、過去6ヵ月の基礎穀物バスケットの価格が低所得者家庭で525.49ペソ、高所得者家庭では2,033.2ペソ増加したと報道。

(8) 29日、アビナデル大統領はラ・ベガ県のハラバコア市及びコンスタンサ市における道路建設（投資額300百万ペソ）の開始式に出席。

(9) 29日、同大統領は、観光及び雇用創出を促進するため、ハラバコアコーヒー生産者協会（ASCAJA）に対し7.5百万ペソの支援を発表。

(10) 29日、アビナデル大統領は、ラ・ベガ県ハラバコア市及びコンスタンサ市の道路の再建工事（投資額300百万ペソ以上）の開始を発表。